

事業名

和の花「(原種)藤袴」 の保護と育成

実施団体

御所藤袴の会

共通の認識と共通の体験(事業目的)

「近所にあんなもんがあったなあ」とか「あんな人がいたなあ」、また「うちのところではこの時期にこんなことしてたなあ」。地域とは、その独自の風景や行事を、その地に集う人たちが世代を超えて共有する場であると思います。

新たな共通認識と共通体験を皆様に提供し地域力向上のきっかけとすることを目論んでいます。

京都古来自生種(原種)の藤袴の保護育成

近年発見された京都古来自生種(原種)の藤袴は京都府の絶滅危惧種に指定されています。

この希少な藤袴の保護育成が私たちの活動の目的です。



「海を渡る蝶」で有名なアサギマダラもやって来ます。

御所藤袴の会

私たちの住む春日学区は京都御所と鴨川に挟まれた場所にあります。

川辺を好む藤袴は平安京の頃、きっと、このあたりに群生していたと思われます。

ちょっとワクワクしませんか？！

平安京に住む多くの都人は、この地に群生(自生)していたであろう、美しく咲き誇る藤袴のかなたに、東山に浮かぶ秋の名月を見たのではないのでしょうか！！

原種藤袴をもってすれば、古(いにしえ)の都の秋風景が再現できるかもしれません！



児童の皆さんは苗付けから参加してくれました。



こんな感じで町内に同じ鉢が並びます。

なんと350名(児童200名)の方が育成にご参加いただきました。毎日、水やり等のお世話！感激です。ありがとうございました。